

項目名	役割	行動指針	実施時期
季節を感じさせる積極的なプロモーション展開	-	1	18年度

概要

一年を通じて園内で四季の移り変わりを感じながら動物園を楽しんでもらえるよう、季節に合わせたプロモーションを行う。
 季節ごとの楽しみ方を提案するとともに、ホームページにおいてもバナーの変更や特集ページの掲載を行い演出する。

＜季節ごとのテーマ＞

- 春 花見・芝生でピクニックの提案
- 夏 納涼イベントと夜の動物園
- 秋 紅葉と樹木紹介
- 冬 北方圏動物の紹介とイルミネーション、雪遊び

スケジュール

2006年（平成18年）	5月～	花見・ピクニックの特集ホームページ掲載
2006年（平成18年）	8月～	「夜の動物園」開催日数の拡大
2006年（平成18年）	12月～	「冬の動物園」で北方圏動物の紹介、冬イベントの充実
2007年（平成19年）	2月～	スノーフェスティバル開催（氷のすべり台等）
2007年（平成19年）	8月～	「真夏の雪まつり」開催（雪30トン搬入）
2007年（平成19年）	10月～	「樹木マップ」制作、紅葉の特集ホームページ掲載

参考図表等



夜の円山動物園



冬の円山動物園

季節で変わるロゴマーク



春は芝生でピクニック



秋は紅葉が楽しめる



夏の定番 夜の動物園

項目名	役割	行動指針	実施時期
夜の動物園のプロモーション	1	1	18年度

概要

夜行性動物の生態観察を通じて野生動物の多様性を伝える。また、普段活用してない夜の時間帯を有効活用し魅力アップ、集客につなげる。

イベント名「夜の動物園」

開園時間を午後9時まで延長し、普段見ることのできない夜の動物園の様子や、猛獣やシロフクロウなどの夜行性の動物の行動を見学できる。

当日は、熱帯動物館やサル山の手すりの外周などをイルミネーションでライトアップし、アザラシのプールを水中照明で照らす。

飼育員による解説付きの「みんなのドキドキ体験」も多数行う。

2005年度(平成17年度)までは2日間のみで開催だったが、これを拡大した。

スケジュール

18年度実施済

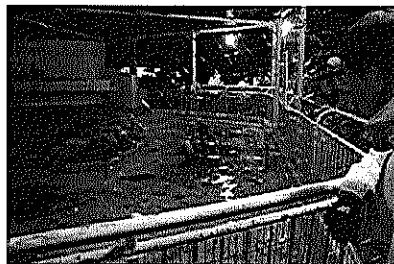
<18年度> 2006年(平成18年)8月11日(金)～15日(火) 5日間

<19年度> 2007年(平成19年)7月28日(土)・8月4日(土)・11日(土)・14日(火)・15日(水)・18日(土)・25日(土) 7日間

参考図表等



幻想的にライトアップされたサル山



夜も人だかりのペンギン



チンパンジー館のドキドキ体験



項目名	役割	行動指針	実施時期
冬の動物園のプロモーション	1	1	18年度

概要

ホッキョクグマやユキヒョウなど北方圏の寒い地域に生息する動物たちが、生き活きと行動する冬の生態観察を通じて野生動物の多様性を伝える。
また、集客が低迷する冬季の魅力開発を行い、集客につなげる。

<展開事例>

- ・「冬の動物園」を盛り上げるポスター、看板の掲示
- ・冬季開園をアピールするための「広報12月号無料クーポン」
- ・「冬の動物園」期間(12~3月)のイベント群(サンデーセミナー、クリスマス、干支動物展等)
- ・雪まつりとタイアップした集客イベント「スノーフェスティバル」

スケジュール

18年度実施済

クリスマスリースづくり(平成18年12月3日)

冬の日飼育係(12月26~28日)

干支イノシシ特別展示(12月2日~)

元旦甘酒・コーンスープ無料サービス(1月1日)

お泊り会ナイトキャンプ(1月6~7日)

年賀状コンクール(1月27日~)

環境オニ退治(2月3日)

スノーフェスティバル(2月4~12日)

レディーウィーク(2月24日~3月4日)誕生会、ひなまつり

サンデーセミナー(1月~毎週日曜)/飼育員の動物講座、円山自然塾、大人の日飼育係

参考図表等



幻想的な冬の園内



シロフクロウ



冬毛のオオカミ



冬の円山動物園

項目名	役割	行動指針	実施時期
提案型イベントによる新たな魅力の開発	-	1	18年度

概要

園内で行われるイベントは、職員だけで企画しているとマンネリ化を生むため、新たな視点でこれまでにないイベントを企画するべく様々な民間企業やNPOなど多様なイベント主体からの提案を受け入れ、円山動物園の新たな魅力を開発する。

＜提案型イベントの実施例＞

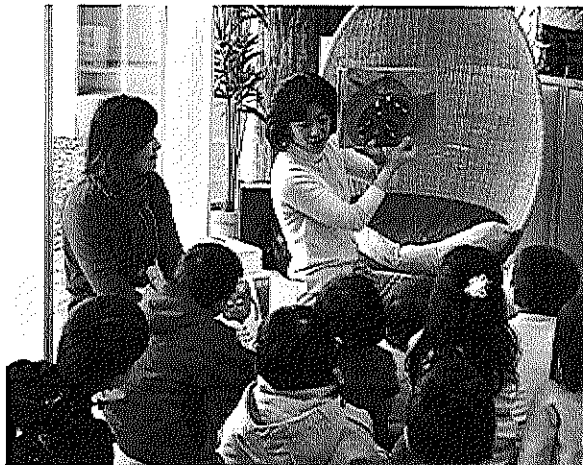
- 「どうぶつ絵本の読み聞かせ」(18年12月実施済)
地元FM放送のアナウンサーや子育てNPOからの提案により実現
- 「まるまるアニマル人形劇」(19年8・9月実施済)
ブログサイトを運営する民間企業からの提案により実現

いずれも特に子育て世代を対象とし、動物を題材にした絵本や人形劇を見て、実際の動物を観察することにより親子での教育効果を高めるイベントとして初めて実現した。

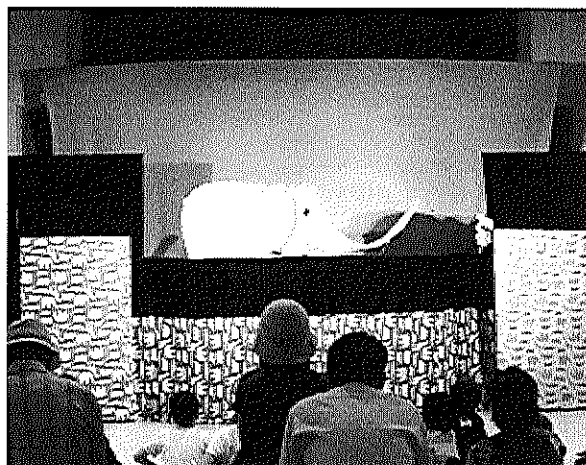
スケジュール

随時実施

参考図表等



読み聞かせに夢中の子どもたち
(サル山展望レストハウス)



大人も一緒に楽しんだ人形劇
(動物科学館ホール)

項目名	役割	行動指針	実施時期
宿泊体験型イベントの実施	1	1	18年度

概要

夏休み、冬休みに行う学習イベント。サル山展望レストハウスに寝袋で宿泊するお泊り会。通常では見ることのできない、夜・早朝の動物の生態を探り知識を深め、飼育員と一緒に飼育体験をして動物と接する喜びや驚きを伝え、さらに食事に際しては動物と関連した食育(食物連鎖の話)を行う。

イベント名「ナイトキャンプ」

JTB北海道の主催による夜の動物園学習お泊り会

主な内容: フィールドワーク、食育レクチャー、ナイトツアー(夜の動物園視察)、作業場案内

対象: 小学校3年生以上(高学年の兄弟参加の場合は小学校1、2年生の参加も可能)

募集人数: 20名

参加費: 8,000円(宿泊、夕食、朝食、損害保険代含む)

スケジュール

18年度実施済

<第1回> 2006年(平成18年)8月5日(土)~6日(日)

<第2回> 2007年(平成19年)1月6日(土)~7日(日)

<第3回> 2007年(平成19年)8月16日(金)~17日(土)

<第4回> 2008年(平成20年)1月10日(木)~11日(金)

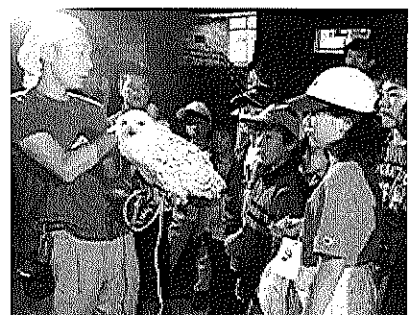
参考図表等



飼育体験で学ぶ子どもたち



食育「いただきます」の意味



お楽しみ夜の探検ツアー

項目名	役割	行動指針	実施時期
大人向け体験イベントの実施	1	1	18年度

概要

「大人も子どもも楽しめる動物園」を目指して、これまで「子ども」を対象としたイベントであった「一日飼育係」について、新たに大人をターゲットとして行う。
 憧れていたけどなれなかった飼育員という仕事を体験したり、動物と間近で触れ合いながら癒しを求める大人が、子どもたちに遠慮せず楽しめるプログラムとする。

イベント名「大人の一日飼育体験」

- ・飼育体験
参加者1名と飼育員1名がペアとなり、各動物舎で飼育体験を行う。
- ・飼育員との懇談会
昼食をとりながら動物園紹介ビデオを上映し、その後飼育員との懇談会を行う。
- ・動物病院体験プログラム
獣医師の仕事や動物病院の役割などをスライドで紹介し、診療体験等を行う。

スケジュール

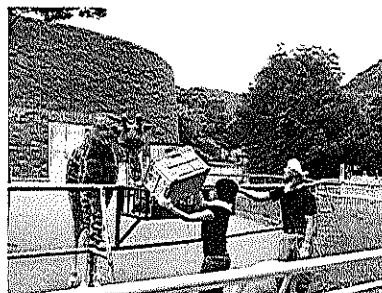
18年度実施済

- <第1回> 2007年(平成19年)2月18日(日)・25日(日) 各日11名
- <第2回> 2007年(平成19年)6月10日(日)・24日(日) 各日10名
- <第3回> 2007年(平成19年)11月11日(日)・18日(日) 各日10名
- <第4回> 2008年(平成20年)2月17日(日)・3月23日(日) 各日10名

参考図表等



動物舎の清掃から参加



キリンへのエサやりを体験



動物病院でウサギに聴診器

項目名	役割	行動指針	実施時期
新規イベントによる新たな客層の開発	-	1	18年度

概要

これまで動物園にとって疎遠だった客層を対象とし、閉園後の夜の動物園を活用したイベントを開発する。

特に「環境教育の拠点」「大人も楽しめる動物園」をアピールするため、環境に感心の高い大人で、かつ新しいイベントに敏感な20～30代の女性や趣味やレクリエーションに時間とお金をかけられる50～60代の女性を中心に、夫婦やカップルでも楽しめるイベントを目指す。

イベント名「円山ZOO LOHASナイト」

夜の動物園で、ソムリエ厳選の北海道産ワインを傾けながら、プロの演奏家によるフルートやバイオリンをBGMに動物たちと間近でふれあい、道産食材をふんだんに使った市内一流ホテル総料理長オリジナルの地産地消オードブルプレートを楽しむ。食事後のLOHASセミナーでは飼育員からとっておきの裏話や動物たちの環境メッセージなどを紹介。人と動物と環境が共存するためのライフスタイルを考えるきっかけとなるイベント。

【主催】ZOO LOHASナイト準備委員会

スケジュール

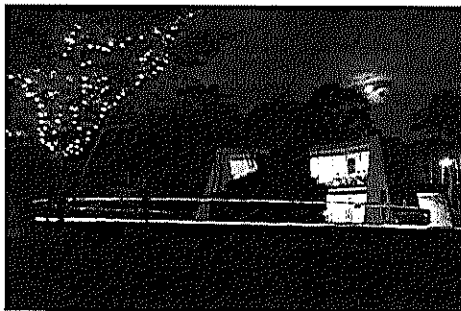
「円山ZOO LOHASナイト」

2006(平成18)年度 8・11月(延べ6回)開催

2007(平成19)年度 6・9・11月(延べ8回)開催

2008(平成20)年度 本州向け観光ツアーとして展開予定

参考図表等



ムードある幻想的な夜の空間



おしゃれして来園する大人たち



若い女性に人気のふれあい

項目名	役割	行動指針	実施時期
シニア層を対象とした市民参加型イベントの開発	-	1	18年度

概要

地域に根ざした歴史ある動物園として幅広い年代層の市民が参加し支持される動物園を目指して、特にシニア層を対象としたイベントを開発する。
園内で活動し、その成果を発表することと、若者からシニアまで長年にわたって親しむことができる点から、アートをテーマとして行う。

イベント名「円山動物園芸術祭」

園内の動物をモチーフに市民が気軽に参加でき園内でスケッチや撮影を行い、作品としての彫刻や写真、絵画、絵手紙などを展示することで、多くの来園者とリピーターが期待できる。
出展者はシニアに限定せず、多様な年代がそれぞれの表現方法で動物の魅力を伝えた。

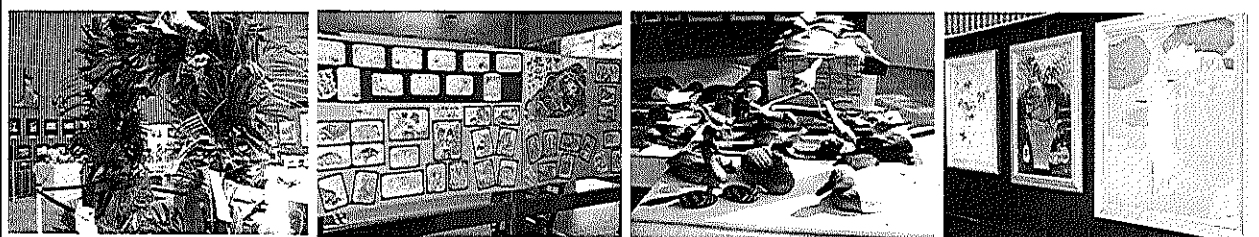
スケジュール

18年度実施済

<第1回>2006年(平成18年)10月21～29日

<第2回>2007年(平成19年)10月6～28日

参考図表等



リーフアート

絵手紙

バードカービング

絵画

項目名	役割	行動指針	実施時期
親子向け体験イベントの実施	1	1	18年度

概要

新規客層の開拓のため、新たに「親子での体験」をターゲットとして行うイベント。職員だけでは発見できない円山動物園の魅力について市民、NPO、企業から提案を受け、協働型で開催する。世代間の交流や親子の思い出づくり、特に父子交流に着目した自然探検・昆虫探検を行う。

<展開事例>

・円山自然塾(18年度)

NPO法人ねおすによる円山登山道の散策と円山に生息する生き物を学ぶセミナー。動物園サンデーセミナーとして3回実施

・円山昆虫探検隊(19年度)

学校関係者の協力により園内の昆虫を探索・解説

スケジュール

18年度実施済

・円山自然塾 2007年(平成19年)3月4日(日)・18日(土)・25日(土)

・円山昆虫探検隊 2007年(平成19年)7月23日(月)～8月18日(土)の中の12日間

参考図表等



スノーシュー(かんじき)を履いて円山散策
円山自然塾の親子散策の様子